

いきものずかんについて

いきものずかん
(代表 井口菜穂)

1. 団体説明

いきものずかんは、将来の自然環境を守る担い手を増やしていくために、子どもが、自然環境や環境問題に興味を持ち、また、それらを好きになる機会をつくることを目的として、活動している。自然環境や環境問題は、とても難しいため、子どもでも理解できるよう、紙芝居やクイズ、折紙等を使用して、楽しく学べるように工夫をしている。子どもへの環境教育の他にも、環境に関するイベントへの参加や、姫路市の白浜海岸での清掃など、幅広く活動している。

2. 2021 年度の活動

2021 年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、例年通り活動することが難しかったが、感染対策を行いながら、児童館での環境教育を行い、また、昨年度から、コロナ禍でも出来る活動として始めた海岸清掃などを、今年も継続して行った。その 2 つについて紹介する。

1 つ目の児童館での環境教育では、今年は神戸市の児童館を訪れて、活動を行った。いきものずかんが制作した、紙芝居「ゆうたくんとイヌワシ」を披露し、その後、絶滅危惧種であるイヌワシについての説明やクイズを行った。

2 つ目の海岸清掃は、姫路市の白浜海岸で、秋に月 1 回ほど行った。海岸清掃は、屋外での活動で、密にもならないため、コロナ禍でも行いやすい活動として、昨年度から開始した。どこにゴミが溜まりやすいか、なぜ、ここにゴミがたくさんあるのか等を、話し合いながら、私たち自身も環境について学ぶことが出来た。

3. 活動を通して学んだこと

いきものずかんの活動は、子どもに環境教育を行うことだが、私たちは、「教える」だけでなく、子どもから「教わる」ことがたくさんある。子どもには、私たちにはなかった発想や考えがあり、そこから、私たちは学ぶことが多い。

また、コロナ禍で思うように活動ができなかったため、どのようにすれば活動できるかを、とてもよく考えた 1 年だった。そのような点では、困難を乗り越え、試行錯誤することの大変さや難しさを、活動を通して学ぶことが出来た。

4. 今後の展望

コロナ禍で思うように活動が出来ない日々が、今年も続いたが、そのような状況下でも、活動出来るよう、試行錯誤を重ねた 1 年だった。来年以降も、試行錯誤を行いながら、今の私たちに来ることを考え、行動に移していきたいと考えている。また、私たちを支え、応援して下さいの方々に対して、感謝の気持ちを忘れず、誠実に、謙虚に頑張っていきたいと思う。



図 1：神戸市内の児童館での活動の様子
(出所) いきものずかん



図 2：姫路市の白浜海岸での清掃の様子
(出所) いきものずかん